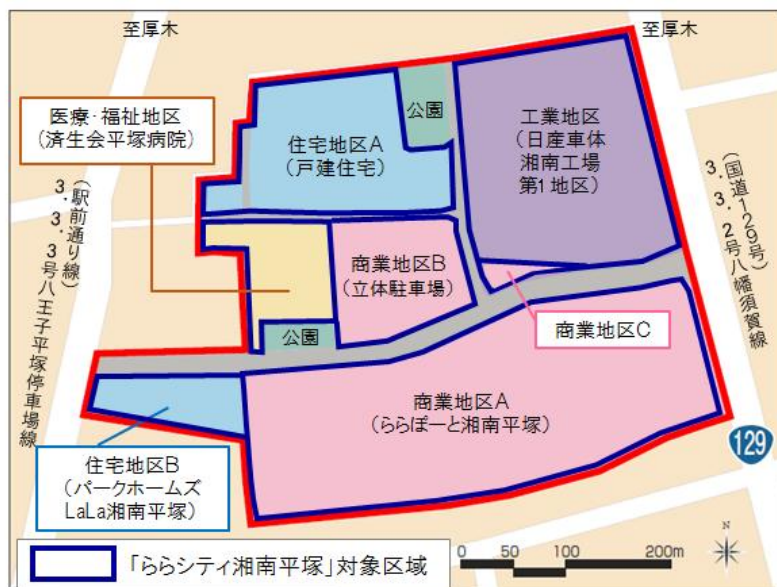


大規模複合開発事業により新たな街が誕生 タウン名称は「ららシティ湘南平塚」

「ららぽーと湘南平塚」を含む大規模複合開発事業の各街区(*1)を総称するタウン名称を「ららシティ湘南平塚」に決定しました。「ららシティ湘南平塚」では、各事業者が各街区にて分譲マンション(事業者:三井不動産レジデンシャル株式会社)、病院(事業者:社会福祉法人恩賜財団済生会平塚病院)を建築中であり、「ららぽーと湘南平塚」の開業後、順次竣工予定です。また、戸建住宅(事業者:三井不動産レジデンシャル株式会社)の開発も推進中です。工業地区では、日産車体株式会社が、引き続き工場を操業いたします。三井不動産は、各事業者と相互に連携を図りながら湘南平塚の活気ある街づくりに貢献してまいります。

*1 各街区とは、商業地区A・B・C、住宅地区A・B、医療・福祉地区、工業地区を示します。

『ららシティ湘南平塚』全体概要



●住宅地区B

パークホームズ LaLa 湘南平塚(185 戸)



外観



メインエントランス



●工業地区

日産車体湘南工場第1地区(操業中)



●医療・福祉地区

社会福祉法人恩賜財団済生会平塚病院



外観



エントラン斯拉ウンジ

都市計画提案制度を活用した新たな街づくり

当複合開発事業は、都市計画提案制度を活用し、新たな街の形成および緑豊かなネットワークづくり等の一翼を担うことを目的とした大規模土地利用転換の都市計画決定・変更が平塚市によりなされたことにより、推進されることになりました。同計画決定・変更により、地区計画および地区施設の導入が決定されています。

◆ 大規模土地利用転換による新たな街づくりの方向性

- ・ 平塚市総合公園、文化施設ゾーン、馬入ふれあい公園等を中心としたスポーツの拠点を結ぶ中間の新たなエリアとして、街のネットワークづくりに寄与する
- ・ 産業・商業・住宅が連携し、環境と共生する街づくりを進める
- ・ 人に誇れるような街、住みやすく、みんなが集まるような街づくりを目指す



◆ 地区計画と土地区画整理事業による新たなインフラ整備

都市計画決定・変更により定められた地区施設の配置を踏まえ、三井不動産が施行者として同エリアで行う土地区画整理事業による都市基盤の整備と併せて必要なインフラ整備等を実施いたします。

□ 主な地区施設

□ 区画道路

(1号～6号)

□ 公園

(1号・2号)

□ 緑道

(商業地区 A)

(住宅地区 B)

□ 歩行者通路

(商業地区 A・B)

□ 植栽帯

(工業地区)



新街区内に緑豊かな環境を創出

◆ 周辺環境との調和に配慮した歩道

区画道路 1 号および 2 号の歩道部路面の仕上材には、透水性・保水性のあるインターロッキングブロックを採用しました。

良好な歩行空間に加え、打ち水効果により都市のヒートアイランド現象にも配慮した計画となっています。

※新設区画道路(車道、歩道)は、平塚市へ移管予定



◆ 緑の大軸線を担うららぽーとの植栽計画

区画道路 1 号の南側には緑道を整備し、樹種やインターロッキングの色合を統一し、ゆとりと潤いのある良好な環境づくりを整備します。

また、当地に従前からある樹木 10 本をららぽーと敷地内に移植しました。新たに植えられた樹木と共に今後もこの地を見守り続けます。



◆ 人々が憩いの場として利用できる緑豊かな公園

同エリア内に、沿道景観を補完する役割を担う公園 1 号(3,500 ㎡)と区画道路 1 号の緑道とともに「緑のネットワーク」を牽引する公園 2 号(2,000 ㎡)を整備します。

※新設される公園は、平塚市へ移管予定

※公園 1 号は供用開始済、公園 2 号の供用開始時期は未定

◆宮松町あおぞら公園(公園 1 号)

中央に広場を設けた開放的な公園です。



◆宮松町すこやか公園(公園 2 号)

散歩などで気軽に利用できる公園です。



道路上空のブリッジ、タクシー等の車寄せ、約 3,500 台の駐車場を整備



●ららぽーと本体棟と商業地区 B の立体駐車場を道路上空でつなぐブリッジを整備いたしました。

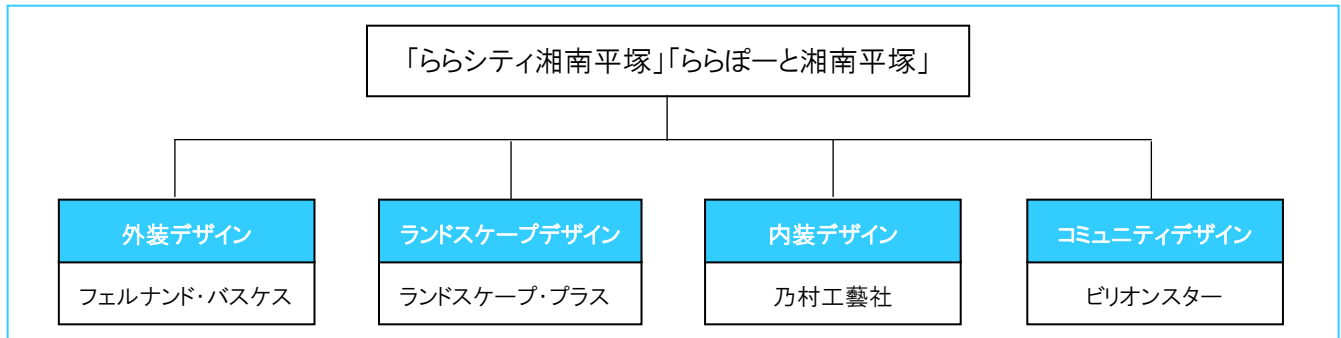
歩行者の安全確保とバリアフリーに加えて、車両が双方向に行き来できるため、周辺の交通環境に寄与できる計画です。

●敷地内にタクシー等の利用が可能な車寄せを設置します。

●駐車場は約 3,500 台をご用意します。

経年優化管理の街づくりパートナー

三井不動産の開発理念である「経年優化管理」の発想のもと、長く愛され続ける街・商業施設を目指し、各分野のエキスパートデザイナーを起用しました。



●外装デザイン(コンセプト:Weave/モノ・ヒト・コが織りなす)



フェルナンド・バスケス

米国ロサンゼルスを拠点にアーバンデザイン・商業施設を中心に建築デザイナーとして様々なプロジェクトに参画し、日本でも1985年からショッピングモールやスーパーマーケットのデザインを提供。

主な作品

「サンフランシスコ49ersスタジアム」
「三井アウトレットパーク 北陸小矢部」
「三井ショッピングパーク ららぽーと EXPOCITY」

●ランドスケープデザイン(コンセプト:StreamLine Hiratsuka)



株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役 平賀 達也

日建設計ランドスケープ設計室の勤務を経て、2008年株式会社ランドスケープ・プラスを設立。現在同社代表取締役、東京工業大学及び東京農業大学非常勤講師。都市の中で自然とのつながりを感じられる空間づくりや仕組みづくりを実践。

主な作品

「としまエコムーゼタウン」「南池袋公園」「二子玉川ライズ」

●内装デザイン(コンセプト:YAMA TO UMI/山と海)



株式会社 乃村工芸社

大寺 徹

クリエイティブディレクター

中 和哉

チーフデザイナー

商業空間のプランニングに基づいてデザインを行うスタイルを得意とし、居心地が良く、にぎわいのある商業空間づくりを行う。

主な作品

「赤坂サカス BizTower」
「柏高島屋ステーションモール」

主な作品

「新江ノ島水族館」
「銀座三越 9F 銀座テラス」

●コミュニティデザイン(コンセプト:Tree House)



株式会社ビリオンスター

ライフスタイルプロデューサー 前原 孝植

フランス、パリにてChristian Dior、John Gallianoのもとでグラフィックデザイナーとして経験を積む。

帰国後、Nano Universe、Mark-Style等、数社のブランドをブランディング。ライフスタイルサイト“nu-natural”プロデューサー。他にもレストラン、カフェを手がける。